記　者　発　表　資　料

令和８年９月 28 日
横 浜 商 工 会 議 所

第 138 回横浜市景況・経営動向調査（令和８年９月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

・自社業況ＢＳＩは、全産業で▲8.9と、前期（▲13.2）からやや上昇
・規模別では、前期と比較して、大企業が3.2ポイント上昇。中小企業は3.6ポイント上昇、また中小企業のうち小規模企業は8.6ポイントと大幅上昇した

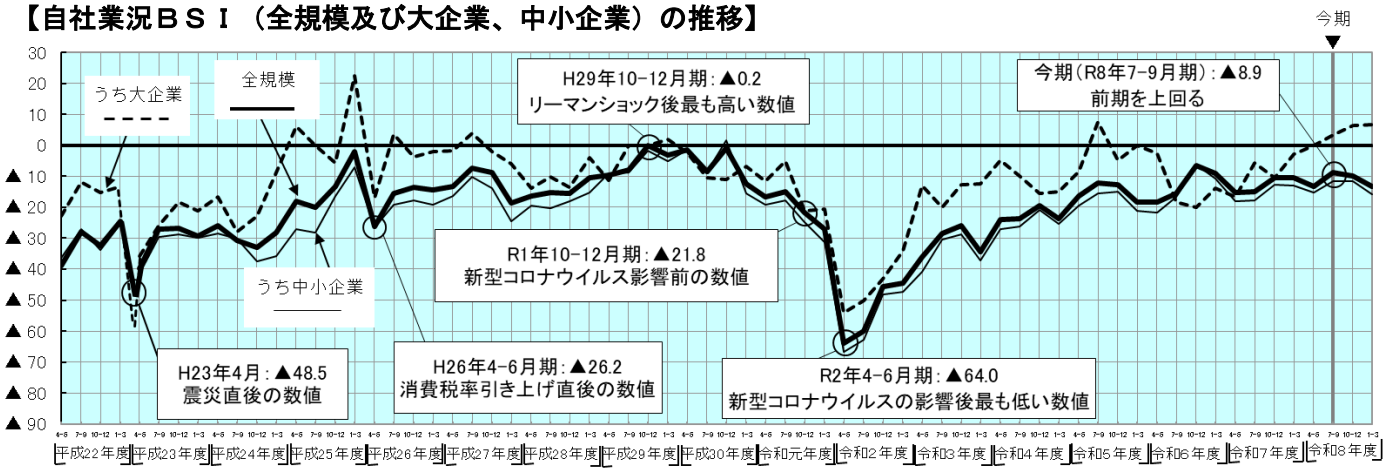
【調査のポイント】
○ **今期（令和８年７−９月期）の自社業況ＢＳＩ（※）は▲8.9**と、前期（▲13.2）と比べて4.3ポイント**上昇**しました。
○ 業種別では、**製造業の今期のＢＳＩは▲10.8**と、前期（▲13.5）より2.7ポイント**上昇**しました。**非製造業の今期のＢＳＩは▲7.6**と、前期（▲12.9）より5.3ポイント**上昇**しました。
○ 規模別では、**大企業の今期のＢＳＩは3.2**と、前期（0.0）より3.2ポイント**上昇**、**中堅企業の今期のＢＳＩは▲0.9**と、前期（▲7.1）より6.2ポイント**上昇**となりました。**中小企業の今期のＢＳＩは▲11.6**と、前期（▲15.2）より3.6ポイント**上昇**、また**中小企業のうち小規模企業の今期のＢＳＩは▲20.5**と、前期（▲29.1）より8.6ポイント**上昇**しました。

【調査対象】市内企業 1,000 社（回収数：631 社、回収率：63.1%）
【調査時期】令和８年７月 22 日～８月 19 日
※BSI（Business Survey Index）：自社業況 BSI は、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

１　自社業況判断（自社業況 BSI：　良い%－悪い%）

【自社業況ＢＳＩ（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI（業種別・規模別）の推移】

		令和７年 10-12月期	令和８年 1−３月期	令和８年 4−６月期（前期）	令和８年 7−９月期（今期）	今期－前期	令和８年 10-12月期（来期）	令和９年 1−３月期（再来期）
全産業		▲10.6	▲10.6	▲13.2	▲8.9	4.3	▲9.9	▲13.2
業種	製造業	▲11.6	▲12.1	▲13.5	▲10.8	2.7	▲12.8	▲15.9
業種	非製造業	▲9.9	▲9.6	▲12.9	▲7.6	5.3	▲8.0	▲11.5
規模	大企業	▲10.5	▲3.0	0.0	3.2	3.2	6.4	6.7
規模	中堅企業	▲1.9	▲1.8	▲7.1	▲0.9	6.2	▲7.2	▲7.4
規模	中小企業	▲12.6	▲13.1	▲15.2	▲11.6	3.6	▲11.6	▲15.8
規模	うち小規模企業	▲17.7	▲14.2	▲29.1	▲20.5	8.6	▲19.1	▲24.6

（注）令和８年 10-12 月期及び令和９年１−３月期は見通し。

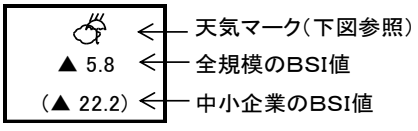
裏面あり

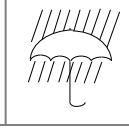
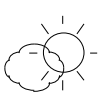
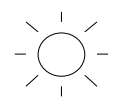

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

【業種別動向】(前期:令和8年4－6月期、今期:令和8年7－9月期、来期:令和8年10－12月期)

業　種	前　期	今　期	来　期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	▲ 31.3 (▲ 33.3)	▲ 35.0 (▲ 36.9)	▲ 35.0 (▲ 36.8)	・主原料もち米の高値継続、中東情勢の影響による包装資材及びその他資材の高騰、消費者の節約志向による消費の減退。(米菓製造) ・季節的な売上減やエネルギー・材料費高騰による影響は引き続き大きい。十分に価格転嫁できず利益は下がっている。(その他の食料品製造)
鉄鋼・金属等	▲ 15.4 (▲ 15.4)	▲ 10.3 (▲ 10.3)	▲ 6.1 (▲ 6.1)	・自動車生産が安定しており、業況も安定している。(鉄鋼切断・溶断業) ・主力の防護服の需要が、コロナによる特需から落ち着きを見せる一方、競合他社との競争が激化し、調達価格が上昇。(金属プレス製品製造)
一般機械	▲ 18.2 (▲ 19.6)	▲ 11.3 (▲ 14.6)	▲ 7.5 (▲ 10.4)	・海外顧客のリピート受注が入り、他社への水平展開が期待できる。(金型・同部品等製造) ・依然として、製造工程上使用される工業用油の不足の影響で生産の遅れがあるものの、徐々に改善方向ではあると感じる。(金型・同部品等製造)
電機・精密等	4.4 (0.0)	6.7 (2.7)	0.0 (▲ 5.6)	・海外客先の業況が改善しており、受注残高が増加している。(電気計測器製造) ・AI関連需要の拡大により、データサーバー向け需要が増加し、売上は回復傾向にある。(IC除電子部品製造)
輸送用機械	0.0 (0.0)	▲ 13.4 (▲ 16.6)	▲ 13.3 (▲ 16.7)	・得意先の生産システム変更に伴い、一時的に受注量が大幅に削減される。(建設・鉱山機械製造) ・中東情勢の影響によって、原油・ガス・電気や外注費の値上げが相次いでいるが、価格転嫁がなかなかできない。(自動車関連製造)
建設業	▲ 14.6 (▲ 15.2)	▲ 8.0 (▲ 10.9)	▲ 4.1 (▲ 4.5)	・月ごとの売上は通年より下回ることもあるが、平均すると売上を達成している。材料によっては入荷が遅れており、売上月がずれることもある。(電気通信工事業) ・国内需要はあるが、人手不足や材料・燃料費高騰、ナフサ不足による材料調達不足の影響が大きいので、業況は見通しが不透明である。(舗装工事業)
運輸・倉庫業	▲ 12.7 (▲ 13.1)	▲ 15.2 (▲ 16.2)	▲ 6.6 (▲ 8.1)	・顧客の定着で上向く一方、物価の高騰で商品価格が上がってしまい、プラスマイナスゼロと考える。(国内旅行業) ・輸送人員は昨年度と比べて増加しているものの、工事費が上昇しているため、今後については楽観視できない。(鉄道業)
卸売業	▲ 11.3 (▲ 4.7)	▲ 1.4 (7.7)	▲ 12.8 (▲ 9.6)	・AIサーバ装置メーカー及びGPUサーバ電源設備に使用される電子部品の需要増加により、設備投資の恩恵で業況が去年より良くなった。(精密機械器具卸) ・新規取引先が増えているだけではなく、さらなる見込み先が増えてきている。(化粧品卸)
小売業	▲ 27.9 (▲ 34.7)	▲ 25.6 (▲ 36.0)	▲ 30.2 (▲ 40.0)	・仕入価格の高騰が販売価格に反映しにくい。商品、部材供給不足が改善されない。(家電機械器具小売) ・物価高による購買意欲の減少と生活防衛のための買い控え。(婦人・子供服小売)
飲食店・宿泊業	0.0 (▲ 14.3)	▲ 20.0 (▲ 37.5)	▲ 20.0 (▲ 37.5)	・仕入れ材料、人件費の高騰、円安による輸入食材の高騰、人手不足、売上が伸びても利益の確保はなかなか難しい。(西洋料理店) ・人、物の価格上昇による買い控えなどの消費動向がつかめない。(中華・東洋料理店)
不動産業	▲ 25.7 (▲ 36.4)	2.9 (0.0)	▲ 3.1 (▲ 5.6)	・地価が落ち着きつつあることで、買手にとって、買いやすくなってきた。(不動産代理・仲介業) ・引き続き国内外ともに需要が堅調。(賃事務所業)
情報サービス業	0.0 (▲ 5.8)	4.9 (▲ 21.0)	5.2 (5.2)	・販売パートナー企業の活動が活発になっている。(情報提供サービス) ・IoT、無線通信分野における需要は引き続き堅調に推移すると見込んでいる。量産案件の拡大や新規案件の進展に加え、研究開発や人材投資を継続することで、中長期的な事業成長を期待している。(ソフト受託開発)
対事業所サービス業	5.7 (3.4)	▲ 3.7 (▲ 3.5)	1.9 (6.9)	・脱炭素の関連で社会的な要求や補助金が設定されて設備投資に繋がった事例の売上が立つ見込み。(土木建築サービス) ・中東情勢の悪化による薬品費、電気代等の単価上昇。(産業廃棄物処分)
対個人サービス業	▲ 29.1 (▲ 28.5)	▲ 16.6 (▲ 10.6)	▲ 10.0 (0.0)	・同業他社の減少による仕事量の増加や人手不足が課題。(自動車一般整備) ・医療材料の不足、価格上昇、電子カルテの導入に対して補助金が出ないため、持ち出し金が多い。(一般病院)

※BSI＝自社業況「良い」%－自社業況「悪い」%
※今期の BSI（全規模）が前期よりも 10 ポイント以上差がある
　業種については、矢印を表示している。
※表中の見方は右図のとおり。



BSI	▲60.1以下	▲60.0～▲40.1	▲40.0～▲20.1	▲20.0～▲5.1	▲5.0～5.0	5.1～20.0	20.1以上
天気							

次頁あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

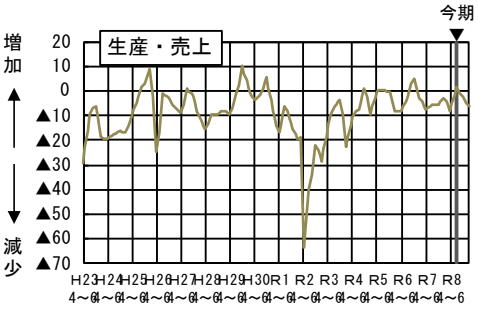
２　主要項目の推移

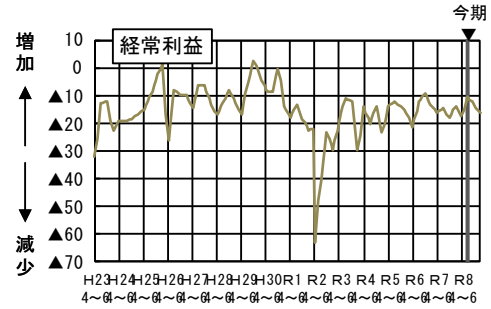
【主要項目（全産業）の推移】

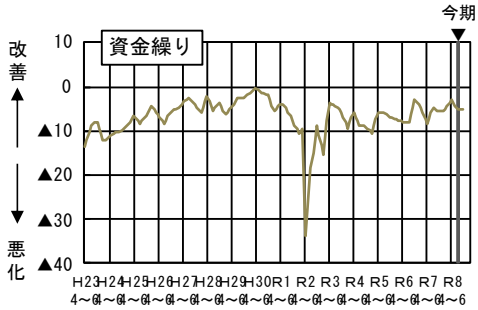
	令和７年 10-12月期	令和８年 1-3月期	令和８年 4-6月期 （前期）	令和８年 7-9月期 （今期）	今期－前期	令和８年 10-12月期 （来期）	令和９年 1-3月期 （再来期）
自社業況	▲10.6	▲10.6	▲13.2	▲8.9	4.3	▲9.9	▲13.2
(1)生産・売上	▲5.2	▲2.7	▲7.8	1.9	9.7	▲2.0	▲6.4
(2)経常利益	▲18.1	▲13.6	▲17.1	▲10.1	7.0	▲13.1	▲15.8
(3)資金繰り	▲5.6	▲5.2	▲3.1	▲5.1	▲2.0	▲5.0	
(4)雇用人員	▲36.0	▲38.4	▲33.9	▲38.5	▲4.6	▲37.9	
(5)生産・営業用設備	▲4.8	▲3.9	▲5.4	▲4.7	0.7	▲4.5	▲4.5

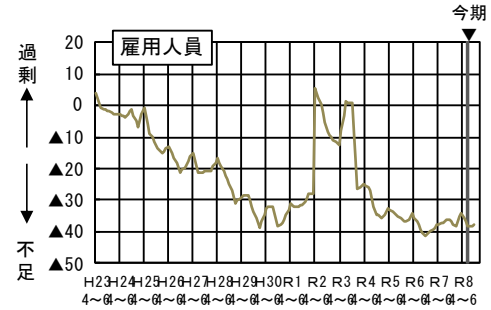
（注）令和８年10-12月期及び令和９年１-３月期は見通し。

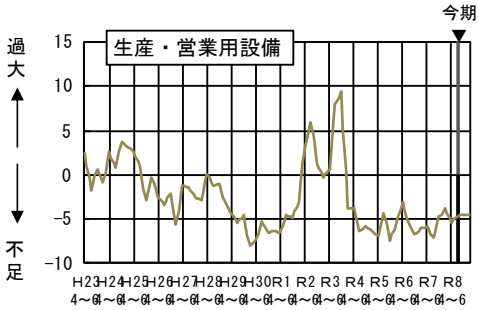
（3）資金繰り及び（4）雇用人員については、令和９年１-３月期の見通しは調査対象外としている。



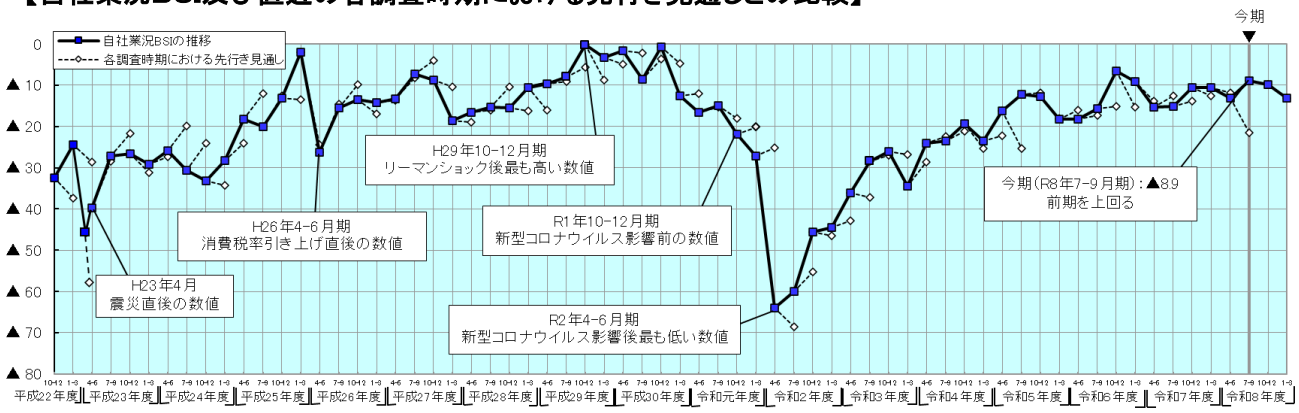








【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



裏面あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

（参考資料）自社業況ＢＳＩ（業種別・規模別の推移）

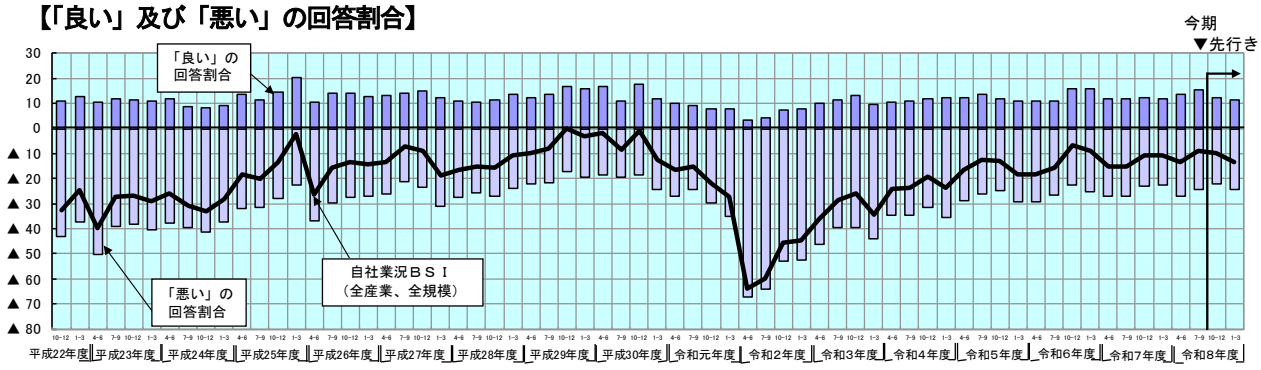
	令和8年 4-6月期	令和8年 7-9月期	今期-前期	7-9月期の回答の割合% 良い	普通	悪い	令和8年 10-12月期	令和9年 1-3月期	回答企業数
全産業	▲ 13.2	▲ 8.9	4.3	15.3	60.6	24.2	▲ 9.9	▲ 13.2	(※) 629
製造業	▲ 13.5	▲ 10.8	2.7	18.7	51.8	29.5	▲ 12.8	▲ 15.9	251
食料品等	▲ 31.3	▲ 35.0	▲ 3.7	10.0	45.0	45.0	▲ 35.0	▲ 35.0	20
繊維・衣服等	▲ 83.3	▲ 27.3	56.0	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3	▲ 27.3	11
印刷	▲ 5.9	▲ 12.5	▲ 6.6	18.8	50.0	31.3	▲ 20.0	▲ 6.7	16
石油・化学等	▲ 19.0	5.0	24.0	20.0	65.0	15.0	▲ 10.0	▲ 5.0	20
鉄鋼・金属等	▲ 15.4	▲ 10.3	5.1	22.4	44.9	32.7	▲ 6.1	▲ 20.9	49
一般機械	▲ 18.2	▲ 11.3	6.9	15.1	58.5	26.4	▲ 7.5	▲ 10.0	53
電機・精密等	4.4	6.7	2.3	26.7	53.3	20.0	0.0	▲ 2.2	45
輸送用機械	0.0	▲ 13.4	▲ 13.4	13.3	60.0	26.7	▲ 13.3	▲ 20.0	15
その他製造業	▲ 13.6	▲ 27.3	▲ 13.7	13.6	45.5	40.9	▲ 36.4	▲ 36.4	22
非製造業	▲ 12.9	▲ 7.6	5.3	13.0	66.4	20.6	▲ 8.0	▲ 11.5	378
建設業	▲ 14.6	▲ 8.0	6.6	10.0	72.0	18.0	▲ 4.1	▲ 2.1	50
運輸・倉庫業	▲ 12.7	▲ 15.2	▲ 2.5	8.7	67.4	23.9	▲ 6.6	▲ 22.2	46
卸売業	▲ 11.3	▲ 1.4	9.9	20.0	58.6	21.4	▲ 12.8	▲ 13.5	70
小売業	▲ 27.9	▲ 25.6	2.3	11.6	51.2	37.2	▲ 30.2	▲ 32.6	43
飲食店・宿泊業	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0	▲ 40.0	10
不動産業	▲ 25.7	2.9	28.6	8.8	85.3	5.9	▲ 3.1	▲ 6.3	34
情報サービス業	0.0	4.9	4.9	17.1	70.7	12.2	5.2	2.5	41
対事業所サービス業	5.7	▲ 3.7	▲ 9.4	14.8	66.7	18.5	1.9	1.8	54
対個人サービス業	▲ 29.1	▲ 16.6	12.5	6.7	70.0	23.3	▲ 10.0	▲ 13.3	30

ＢＳＩ(Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。ＢＳＩ＝良い%－悪い%

	令和8年 4-6月期	令和8年 7-9月期	今期-前期	7-9月期の回答の割合% 良い	普通	悪い	令和8年 10-12月期	令和9年 1-3月期	回答企業数
全産業	▲ 13.2	▲ 8.9	4.3	15.3	60.6	24.2	▲ 9.9	▲ 13.2	(※) 629
大企業	0.0	3.2	3.2	12.9	77.4	9.7	6.4	6.7	31
中堅企業	▲ 7.1	▲ 0.9	6.2	12.5	74.1	13.4	▲ 7.2	▲ 7.4	112
中小企業	▲ 15.2	▲ 11.6	3.6	16.0	56.4	27.6	▲ 11.6	▲ 15.8	486
うち小規模企業	▲ 29.1	▲ 20.5	8.6	10.3	59.0	30.8	▲ 19.1	▲ 24.6	195
製造業	▲ 13.5	▲ 10.8	2.7	18.7	51.8	29.5	▲ 12.8	▲ 15.9	251
大企業	10.0	25.0	15.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	8
中堅企業	11.1	9.1	▲ 2.0	9.1	90.9	0.0	9.1	0.0	11
中小企業	▲ 15.4	▲ 12.9	2.5	19.0	49.1	31.9	▲ 15.3	▲ 18.1	232
うち小規模企業	▲ 25.4	▲ 23.7	1.7	10.5	55.3	34.2	▲ 20.4	▲ 25.9	114
非製造業	▲ 12.9	▲ 7.6	5.3	13.0	66.4	20.6	▲ 8.0	▲ 11.5	378
大企業	▲ 4.6	▲ 4.3	0.3	8.7	78.3	13.0	0.0	0.0	23
中堅企業	▲ 8.9	▲ 2.0	6.9	12.9	72.3	14.9	▲ 9.1	▲ 8.2	101
中小企業	▲ 15.2	▲ 10.2	5.0	13.4	63.0	23.6	▲ 8.3	▲ 13.7	254
うち小規模企業	▲ 34.6	▲ 16.0	18.6	9.9	64.2	25.9	▲ 17.5	▲ 22.8	81

（※）回収数（631件）のうち、無回答数（2件）を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

お問合せ先
企画調整課長　　松本　　Tel 045-671-2565

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷